

数値目標<取組方針>実績値

重点テーマ	取組方針	No.	数値目標	2040策定時	令和5年度(2023年度)	数値目標(2030年度)
(1) 未来の主役づくり	ア 地域全体で子育てを支えるとともに、切れ目のない質の高い教育を通して、未来を担う子どもの「生きる力」を育みます。	1	① 現在、夢や目標を持っている児童・生徒の割合	小学生 86.7% 中学生 78.7% (2022年度)	小学生 87.4% 中学生 79.3%	小学生 100% 中学生 100%
		2	② 安心して子育てができるまちと感じている市民の割合	55.9% (2022年度)	54.6%	70%
		3	③ 1年以内に子どもやその保護者とともに行う活動に参加した市民の割合	24.5% (2022年度)	36.5%	40%
	イ 多様な学びの機会を創出し、誰もが働きやすく、社会参加できる環境を整えることで、一人ひとりの「自己実現力」を育みます。	4	① 誰もが学び、学んだことを活かせる環境が整っているまちと感じている市民の割合	40.0% (2022年度)	35.9%	60%
		5	② 誰もが活躍できる環境が整っているまちと感じている市民の割合	30.0% (2022年度)	26.2%	50%
	ウ 日常生活の中で健康になれる環境と地域医療体制を整備するとともに、セルフケア能力を高める支援を通して、一人ひとりの健康を育みます。	6	① 健康のために「こころと身体にいいこと」をしている市民の割合	89.4% (2022年度)	90.9%	95%
		7	② 安心して医療を受けられるまちと感じている市民の割合	69.2% (2022年度)	63.3%	85%
		8	③ 居心地が良くあるきたくなるまちと感じている市民の割合	59.6% (2022年度)	66.6%	75%
(2) 未来へのつながりづくり	ア 多様かつ複合化した地域課題の解決に向け、市民力・地域力をもとにして、地域が主体的に支えあえる「地域づくり」を推進します。	9	① 地域に人とひととのつながりがあるまちと感じている市民の割合	28.4% (2022年度)	40.5%	60%
		10	② 身近な場所に困りごとを相談できる人がいる市民の割合	67.2% (2022年度)	68.3%	85%
	イ 日本遺産をきっかけとして、桑都文化を磨き上げ、地域活動や地域の産業・経済の活性化をはかるほか、豊富な資源を活用した地域主体の観光まちづくりを推進します。	11	① 日本遺産や歴史文化など地域資源を活用した地域主体の活動に参加した市民の割合	12.7% (2022年度)	23.9%	35%
		12	② 自分のまちの魅力を、家族・友人・知人におすすめしたいと思う市民の程度(推奨意欲スコア)	48.2ポイント (2022年度)	46.0ポイント	55ポイント
		13	③ 観光客数	508万人 (2021年)	730万人	1,000万人
	ウ 豊かな産業資源の優位性や学園都市としての知の集積を活かし、産学官民連携で革新的なイノベーションによる価値創造を目指します。	14	① イノベーション実現企業率	30.2% (2019~2021年)	30.2% (2019~2021年)	40%
		15	② 付加価値額	1,080,425百万円 (2016年)	977,557百万円	現状以上
(3) 未来に続く都市づくり	ア 自助・互助・共助・公助の連携強化をはかるとともに、自然や先端技術を活用し、災害の脅威から市民の命を守る強靱なまちづくりを推進します。	16	① 災害に強いまちと感じている市民の割合	37.5% (2022年度)	33.6%	65%
		17	① 地域に人とひととのつながりがあるまちと感じている市民の割合	28.4% (2022年度)	40.5%	60%
	イ にぎわいと活力を生み出すため、新産業分野の事業創出や既存産業への支援を行うほか、公共交通の充実とともにウォーカブルなまちづくりを推進します。	18	② 付加価値額	1,080,425百万円 (2016年)	977,557百万円	現状以上
		19	② 創業比率	5.2% (2014~2016年)	5.2% (2014~2016年)	10%
		20	③ 「交通の便」満足度	49.5% (2022年度)	47.6%	55%
		21	③ 居心地が良くあるきたくなるまちと感じている市民の割合	59.6% (2022年度)	66.6%	75%
		22	① 生物多様性や豊かな生活環境の保全のために行動した市民の割合	79.4% (2022年度)	83.4%	85%
	ウ 自然環境と都市機能が調和した都市の実現に向け、再生可能エネルギーの導入推進・普及など持続力を生み出す取組を推進します。	23	② 温室効果ガス削減割合(2013年度比)	12.3% (2019年度)	14.2%	46%